

# 作況調査報告

(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所

## 収量調査

場所	品 種 名	全重 (kg/a)				わら重 (kg/a)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒 石	つがるロマン	166.4	164.1	101	189.0	65.8	71.2	92	80.0
	青天の霹靂	150.7	-	-	-	73.6	-	-	-
十和田	まっしぐら	162.5	158.1	103	166.3	74.7	72.4	103	73.7

場所	品 種 名	しいな重 (kg/a)				精粳重 (kg/a)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒 石	つがるロマン	1.3	1.1	118	2.2	85.8	80.0	107	87.6
	青天の霹靂	0.2	-	-	-	70.4	-	-	-
十和田	まっしぐら	1.8	1.6	113	1.8	79.9	79.4	101	84.0

場所	品 種 名	粗玄米重 (kg/a)				屑米重 (kg/a)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒 石	つがるロマン	69.2	64.9	107	71.8	2.6	2.8	93	2.9
	青天の霹靂	58.1	-	-	-	1.5	-	-	-
十和田	まっしぐら	65.5	65.2	101	68.5	5.4	3.2	169	4.2

場所	品 種 名	精玄米重 (kg/a)				玄米千粒重 (g)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒 石	つがるロマン	66.6	62.2	107	68.9	24.0	22.7	106	23.2
	青天の霹靂	56.6	-	-	-	23.4	-	-	-
十和田	まっしぐら	60.1	62.0	97	64.3	22.3	22.5	99	23.8

注1) 黒石は農林総合研究所作物部、十和田は同藤坂稲作部の作況試験のデータ。

2) 耕種概要〔黒 石〕 移植日：5月20日 栽植株数：21.2株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：

つがるロマン 0.4+0.2 (追肥 7/17：幼穂形成期6日後)

青天の霹靂 0.35+0 (無追肥)

〔十和田〕 移植日：5月15日 栽植株数：24.3株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：0.7+0.3 (追肥 7/9：幼穂形成期同日)

3) 平年値は、黒石「つがるロマン」が前8か年の平均、十和田「まっしぐら」が前6か年の平均。

4) 精玄米重及び玄米千粒重は、粗玄米を1.9mmのふるいで選別した値。

## 【概況】

黒石「つがるロマン」は、全重は平年並みだが、わら重が平年より軽く、精玄米重は平年比107%と重かった。また、玄米千粒重は平年比106%と平年より重かった。「青天の霹靂」は、精玄米重が56.6kg/aで、玄米千粒重は「つがるロマン」よりやや軽かった。

十和田「まっしぐら」は、全重、わら重ともに平年よりやや重かったが、精玄米重は平年比97%とやや軽かった。また、玄米千粒重は平年並みであった。

# 作況調査報告

(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所

## 登熟調査

場所	品 種 名	株当たり穂数 (本)				m <sup>2</sup> 当たり穂数 (本)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒 石	つがるロマン	22.8	19.2	119	22.5	483	406	119	477
	青天の霹靂	19.7	-	-	-	418	-	-	-
十和田	まっしぐら	19.3	17.0	114	17.4	469	413	114	423

場所	品 種 名	m <sup>2</sup> 当たり籾数 (×100粒)				1穂籾数 (粒)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒 石	つがるロマン	332	318	104	426	68.7	77.9	88	89.3
	青天の霹靂	253	-	-	-	60.3	-	-	-
十和田	まっしぐら	324	340	95	359	69.2	82.3	84	85.0

場所	品 種 名	有効茎歩合 (%)				枝梗別籾数割合 (%)			
		本年	平年	平年差	前年	1次枝梗		2次枝梗	
						本年	前年	本年	前年
黒 石	つがるロマン	64.9	62.6	+2.3	72.3	61.5	56.4	38.5	43.6
	青天の霹靂	61.6	-	-	-	68.8	-	31.2	-
十和田	まっしぐら	75.9	71.6	+4.3	73.6	59.8	57.2	40.2	42.8

場所	品 種 名	登熟歩合 (%)							
		1次枝梗+2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
		本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
黒 石	つがるロマン	83.4	86.2	-2.8	68.1	94.2	88.9	66.3	41.3
	青天の霹靂	95.2	-	-	-	96.5	-	92.5	-
十和田	まっしぐら	83.1	81.6	+1.5	74.9	92.0	90.8	69.7	53.7

場所	品 種 名	不稔歩合 (%)							
		1次枝梗+2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
		本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
黒 石	つがるロマン	2.7	4.1	-1.4	9.8	2.2	4.0	3.3	17.3
	青天の霹靂	2.5	-	-	-	2.3	-	3.0	-
十和田	まっしぐら	5.6	4.2	+1.4	1.7	4.5	1.5	7.2	1.7

注1) 黒石は農林総合研究所作物部、十和田は同藤坂稲作部の作況試験のデータ。

2) 耕種概要〔黒 石〕 移植日：5月20日 栽植株数：21.2株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：

つがるロマン 0.4+0.2 (追肥 7/17：幼穂形成期6日後)

青天の霹靂 0.35+0 (無追肥)

〔十和田〕 移植日：5月15日 栽植株数：24.3株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：0.7+0.3 (追肥 7/9：幼穂形成期同日)

3) 平年値は、黒石「つがるロマン」が前8か年の平均、十和田「まっしぐら」が前6か年の平均。

## 【概況】

黒石「つがるロマン」は、1穂籾数は平年比88%と少なかったが、有効茎歩合が平年を2.3ポイント上回り、m<sup>2</sup>当たり穂数が平年比119%と多かったことから、m<sup>2</sup>当たり籾数は平年比104%とやや多かった。また、登熟歩合(1次枝梗+2次枝梗)は83.4%と平年より2.8ポイント低かった。「青天の霹靂」は、m<sup>2</sup>当たり籾数は少ないが、登熟歩合が「つがるロマン」を11.8ポイント上回った。

十和田「まっしぐら」は、有効茎歩合が平年を4.3ポイント上回り、m<sup>2</sup>当たり穂数が平年比114%と多かったが、1穂籾数が平年比84%と少なかったことから、m<sup>2</sup>当たり籾数は平年比95%とやや少なかった。また、登熟歩合(1次枝梗+2次枝梗)は83.1%と平年より1.5ポイント高かった。

# 作況調査報告

(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所

## 粒厚分布調査

場所	品 種 名	年次	玄米粒厚別重量歩合 (%)						
			～2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6～
黒 石	つがるロマン	本年	27.8	47.9	16.3	4.2	1.4	1.3	1.1
		平年	13.9	37.6	34.5	9.7	2.4	1.0	0.9
		前年	20.3	53.3	17.0	5.4	2.1	1.0	0.8
	青天の霹靂	本年	7.0	56.7	26.0	7.8	1.6	0.6	0.4
十和田	まっしぐら	本年	0.2	17.4	55.9	18.2	3.8	1.5	3.0
		平年	1.9	41.0	41.9	10.3	2.3	1.1	1.6
		前年	3.7	48.0	33.7	8.1	2.7	1.7	2.2

場所	品 種 名	年次	重量歩合 (%)
			1.9mm以上
黒 石	つがるロマン	本年	96.2
		平年	95.7
		前年	96.0
	青天の霹靂	本年	97.4
十和田	まっしぐら	本年	91.7
		平年	95.1
		前年	93.5

注1) 黒石は農林総合研究所作物部、十和田は同藤坂稲作部の作況試験のデータ。

2) 耕種概要〔黒 石〕 移植日：5月20日 栽植株数：21.2株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：

つがるロマン 0.4+0.2 (追肥 7/17：幼穂形成期6日後)

青天の霹靂 0.35+0 (無追肥)

〔十和田〕 移植日：5月15日 栽植株数：24.3株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：0.7+0.3 (追肥 7/9：幼穂形成期同日)

3) 平年値は、黒石「つがるロマン」が前8か年の平均、十和田「まっしぐら」が前6か年の平均。

## 【概況】

黒石「つがるロマン」は、粒厚別重量歩合のピークが2.1mmと平年並みで、1.9mm以上の重量歩合も96.2%と平年並みであったが、2.1mm以上の重量歩合が平年を上回り、全体的に粒厚が大きい傾向であった。また、「青天の霹靂」は、粒厚別重量歩合のピークが2.1mmで、1.9mm以上の重量歩合は97.4%であった。

十和田「まっしぐら」は、粒厚別重量歩合のピークが2.0mmと平年並みであったが、2.1mm以上の重量歩合が平年を下回り、1.9mm以上の重量歩合も91.7%と平年より3.4ポイント低く、全体的に粒厚が小さい傾向であった。

# 作況調査報告

(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所

## 節間長調査

場所	品 種 名	年次	生育調査区		節 間 長				
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	第 1 (cm)	第 2 (cm)	第 3 (cm)	第 4 (cm)	第 5 (cm)
黒 石	つがるロマン	本年	85.7	18.4	34.0	19.2	17.0	13.6	2.0
		平年	84.2	17.7	32.7	20.6	17.7	11.0	2.4
		前年	93.2	18.8	36.3	23.7	19.9	11.3	2.0
	青天の霹靂	本年	80.3	17.5	30.8	16.3	16.7	13.8	2.6
十和田	まっしぐら	本年	78.3	17.7	33.7	18.1	13.8	11.0	1.7
		平年	76.5	17.2	32.5	18.9	14.0	9.8	2.6
		前年	78.9	17.7	33.5	19.6	13.1	9.4	3.4

注1) 黒石は農林総合研究所作物部、十和田は同藤坂稲作部の作況試験のデータ。

2) 耕種概要〔黒 石〕 移植日：5月20日 栽植株数：21.2株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：

つがるロマン 0.4+0.2 (追肥 7/17：幼穂形成期6日後)

青天の霹靂 0.35+0 (無追肥)

〔十和田〕 移植日：5月15日 栽植株数：24.3株/m<sup>2</sup>

施肥 (kg/a)：0.7+0.3 (追肥 7/9：幼穂形成期同日)

3) 平年値は、黒石「つがるロマン」が前8か年の平均、十和田「まっしぐら」が前6か年の平均。

## 【概況】

黒石「つがるロマン」は、稈長が平年並み、穂長は平年よりやや長かった。節間長は、第2、第3及び第5節間は平年を下回ったが、第1及び第4節間は平年を上回り、特に第4節間が長かった。また、「青天の霹靂」は「つがるロマン」と比べ、稈長が5.4cm短く、穂長も0.9cm短かった。

十和田「まっしぐら」は、稈長は平年並みで、穂長は平年よりやや長かった。節間長は、第2及び第5節間は平年を下回ったが、第3節間は平年並みで、第1及び第4節間は平年を上回った。